

白石町の特徴や誇れるもの

白石町は、平成17年1月1日に旧白石町、旧福富町、旧有明町が合併し誕生しました。町西方の杵島山系から東方へ広がる広大な白石平野は、古く弥生時代から自然陸化し、中世より現代まで幾多の干拓事業で造成された土地です。

特色としては粘質土壌で、農業好適地帯となっています。

米、れんこん、たまねぎ、いちごが特産品です。

また、六角川や塩田川をはじめとする川は、地域にうるおいを与えながら、有明のりでも有名な宝の海と呼ばれる有明海に注いでいます。

白石町は、山と平野、川と海といった美しく個性豊かな自然が一体として揃っています。

その他、日本三大歌垣うたがきの歌垣山、浮立等伝統文化、3月に実施される歌垣の郷ロードレースなど、文化・スポーツの町としても取り組んでいます。



教育委員会所在地: 杵島郡白石町大字福田1247-1

連絡先: 0952-84-7128

学校数: 小学校 8校、中学校 3校

福富小学校の取組 〈郷土料理作り〉



11月のフェスティバルで「にじゃあ」作りを体験しました。福富の特産物「れんこん」などを使った郷土料理で、食生活改善推進協議会の方々に食材の切り方や味付けを教えていただきながら手際よく作りあげていきました。

食材の多さに子どもたちも驚いていました。身近な地域の方々に、古くから伝わる料理の作り方を教えていただき貴重な体験となりました。

六角小学校の取組

5年生は、総合的な学習の時間に米作り(田植え、稲刈りなど)に取り組んできました。

10月の稲刈りでは、地域の方にのこぎり鋸がまの使い方を教えてもらい、初めての稲刈りに挑戦しました。

子どもたちは、すぐに要領をつかみ、稲をどんどん刈り取っていきました。その後、刈り取った稲を昔の道具(脱穀機・唐箕とうみ)で、もみ粉にする作業も体験しました。収穫した米は、須古寿司すこ作りに使ったり、バザーで販売したりしました。保護者や地域の方々の協力を得ながら、すばらしい体験ができました。



有明西小学校の取組

3年生が大豆栽培、5年生が稲作体験活動を行っています。どちらの学年も地域のボランティアに協力を得ての白石町農産物育成体験です。

具体的には、3年生は、大豆の種まき、収穫、脱穀、選別、黄な粉やクッキーづくり、5年生は、田植え、稲刈り、脱穀、飯盒炊さん等々の体験です。

どの子どもも目を輝かせながら熱心に活動しています。地域の人、もの、事と触れ合う絶好の機会ととらえ、地域の特色を知り、地域を誇りに思う心を育てています。



大豆の種まき



田植え



大豆の選別

白石町の特徴や誇れるもの

白石町は、平成17年1月1日に旧白石町、旧福富町、旧有明町が合併し誕生しました。町西方の杵島山系から東方へ広がる広大な白石平野は、古く弥生時代から自然陸化し、中世より現代まで幾多の干拓事業で造成された土地です。特色としては粘質土壌で、農業好適地帯となっています。米、れんこん、たまねぎ、いちごが特産品です。

また、六角川や塩田川をはじめとする川は、地域にうるおいを与えながら、有明のりでも有名な宝の海と呼ばれる有明海に注いでいます。白石町は、山と平野、川と海といった美しく個性豊かな自然が一体として揃っています。

その他、日本三大歌垣の歌垣山、浮立等伝統文化、3月に実施される歌垣の郷ロードレースなど、文化・スポーツの町としても取り組んでいます。



教育委員会所在地: 杵島郡白石町大字福田1247-1

連絡先: 0952-84-7128

学校数: 小学校 8校、中学校 3校

有明東小学校の取組・活動例

<3年生 レンコン収穫体験>



有明東小学校では、3年生が総合的な学習の時間に町内のレンコン農家を訪ねて収穫体験を行いました。

「わが町白石」の名産物のよさを再認識するとともに、生産農家の思いや苦労を肌で感じる事ができました。

今後も、人やふる郷とのつながりを大切にして、本校体験学習の一つとして毎年続けていく予定です。

須古小学校の取組・活動例



毎年、5年生は、親子で須古寿司づくりに挑戦します。須古寿司は、白石町須古地区に 500年間も受け継がれてきた郷土料理です。教えてくださるのは、地区の名人、猪ノ口操さんです。親子で習って、この味を受け継いでいってほしいという願いがあります。もろふたに敷き詰められた寿司飯の上には、地元でとれた山の幸、海の幸がきれいに飾られます。

福富中学校の取組・活動例

福富中学校では「郷土探訪」を実施しました。地域へ出かけ講師の先生からふるさとの地理・歴史について教わりました。野外観察を通してふるさとについて理解し、堤防跡を歩いて干拓をすすめた先人の苦労を知りました。先人の努力から地域に貢献することの大切さも学びました。町が堤防の造成で発展し、堤防で守られていることから、町の生命線である堤防が郷土の財産・誇りであることも学びました。



歩いて堤防跡を見学



住之江港の繁栄について説明